

「努力 上乘せが大事」

サッカー元日本代表・井原さん講演

熊本市

サッカー元日本代表の井原正巳さん(51)のトークショーが16日、熊本市中央区の県民交流館パレアであり、国際大会の経験や努力の大切さを語った。

東京五輪・パラリンピックへの関心を高めようと県教委と熊本市教委が開いた市民フォーラムの一環。高校生や教職員など約200人の聴衆が集まった。

販売局

熊本日日新聞
096(361)3125
2018.12.18

「悔しさが次へのパワーになる」と努力を続けることの大切さを語るサッカー元日本代表の井原正巳さん＝熊本市中央区



井原さんは日本代表の主将を4年間担い、日本がワールドカップ(W杯)に初参戦した1998年のフランス大会に出場。今季までJ2アビスパ福岡の監督を務めた。

W杯の経験を紹介しながら「みんなと同じではだめ。足りない部分を補うために、上乘せして努力することが大事」と力を込めた。会場からの「一番すごいと思った選手は？」との質問には、元アルゼンチン代表のマラドーナ選手を挙げた。熊本農高サッカー部2年の落合真紘さんは「十分に準備をしたら自信を持って試合に臨める」という話が印象的

だった。今まで以上に練習を頑張る」と刺激を受けた様子だった。また、熊本大の中川保敬教授をコーディネーターに、ブラインド・マラソンガイドランナーの堀内規生さん(福岡県)らが大会を支える側の取り組みを発表するシンポジウムもあった。(元村彩)